

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院外科学講座では、下記の臨床研究を実施しています。皆様及び代諾者の方には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：術前治療後に骨盤内臓全摘術を施行した局所進行直腸癌治療成績の検討

1. 研究の概要

術前治療後に骨盤内臓全摘術を施行した局所進行直腸癌の治療成績について、以前の治療経過をカルテ情報を確認しながら検討します。

【実施責任者】

宮崎大学医学部外科学講座下部消化管分野 市原 明子

2. 目的

術後に再発するリスクの高い、高度に進行した直腸癌に対し、当院外科学講座下部消化管分野で行った骨盤内臓全摘術の治療方針と短期成績について、過去の情報を調べる後ろ向き研究を行います。

なお、この研究は、直腸癌の治療に関連する新しい知識を得ることを目的とします。

3. 研究実施予定期間

この研究は、研究機関の長の許可後から2028年3月31日まで行われます。

4. 対象者

2017年4月1日から2023年4月30日に本院下部消化器外科に入院され、直腸癌に対し術前治療後に骨盤内臓全摘術を受けられた方が対象となります。

5. 方法

対象となる方のカルテ情報から、画像診断として骨盤MRIの検査所見（術前治療として放射線、全身化学療法、放射線+全身化学療法を行う前後のそれぞれの検査結果）、採血での腫瘍マーカー(CEA)の検査結果、術中所見、病理組織学的検査所見等を利用させていただき、これらの情報をもとに術前治療前後の画像所見の変化と切除した病変の治療効果を解析し、術前治療の有用性を検討します。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。

なお、本研究の研究担当者は、本研究に関連する企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、申告すべき利益相反^{注1)}はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益(謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等)の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院外科学講座消化管・内分泌・外科学講座

氏名 市原 明子

電話：0985-85-2808

FAX：0985-85-3780